

令和5年1月～12月 奈良県宿泊統計調査 結果の概要

・延べ宿泊者数は、令和4年比**26.3%増加**の**2,937,286人**であり、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年比**4.0%増**であった。

・外国人延べ宿泊者数は、令和4年比**897.9%増加**の**306,787人**であり、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年比**42.1%減**であった。

奈良県宿泊統計調査の概要

- ・県内の宿泊動向を把握するため、四半期毎に調査対象となる宿泊施設※に調査票を送付し、調査を実施した。
- ・営業形態(ホテル、旅館、簡易宿所、キャンプ場)別、6つのエリア別に延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数、客室稼働率等を推計した。
- ・旅館業の営業許可を受けている観光・ビジネス向け(ラブホテル・ラブホテルと思われる施設を除く)宿泊施設から、確認失効、休業施設を除いた数である。

推計方法

延べ宿泊者数

- ①エリア別、業態別に回答のあった宿泊施設の月別の「延べ宿泊者数」を「定員数に月中営業日数を乗じた数値」で除して、平均定員稼働率を求める。
- ②県内554件の宿泊施設のエリア別、業態別の総定員数を求める。
- ③②で求めた総定員数に①で求めた月別平均定員稼働率を乗じる。

外国人宿泊者数

- ①外国人宿泊者数の回答のあった施設の月中延べ宿泊者数に対する外国人宿泊者数の比率を求める。
- ②①で求めた比率に県内554件の宿泊施設のエリア別、業態別の総宿泊者数を乗じる。

外国人延べ宿泊者の国籍割合

- ①外国人延べ宿泊者数の国籍割合について、回答のあった施設の人数を合計する。
- ②各国籍別人数の合計を①で求めた合計で除して、割合を求める。

客室稼働率

「客室稼働率」の記載のある宿泊施設については当該数値を用い、記載のない宿泊施設については、「延べ客室稼働数」を「月末現在客室数に月中営業日数を乗じた数値」で除して求めた数値を用いた。

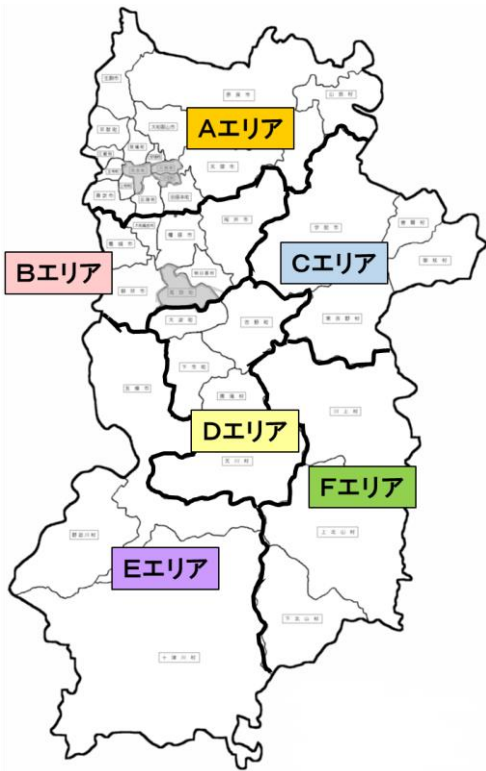
奈良県宿泊統計調査 エリア内訳

エリア別施設数等

エリア	宿泊施設数 (件)	客室数 (室)	定員数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)
A	231	7,032	18,067	161	69.7%
B	66	1,034	2,915	48	72.7%
C	53	317	1,432	34	64.2%
キャンプサイト		74	441		
D	117	920	4,691	63	53.8%
キャンプサイト		415	1,716		
E	54	425	1,589	35	64.8%
キャンプサイト		20	92		
F	33	241	1,003	22	66.7%
キャンプサイト		30	120		
合計	554	9,969	29,697	363	65.5%
キャンプサイト		539	2,369		

※キャンプサイトは外数

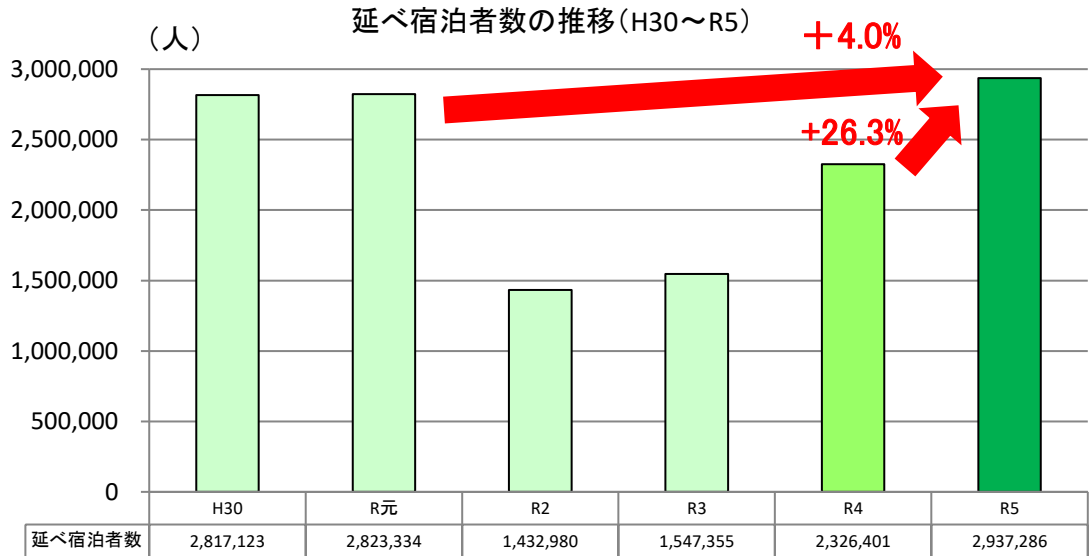
各エリアの市町村一覧



A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町、安堵町、上牧町、広陵町、田原本町、山添村
B	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、明日香村
C	宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

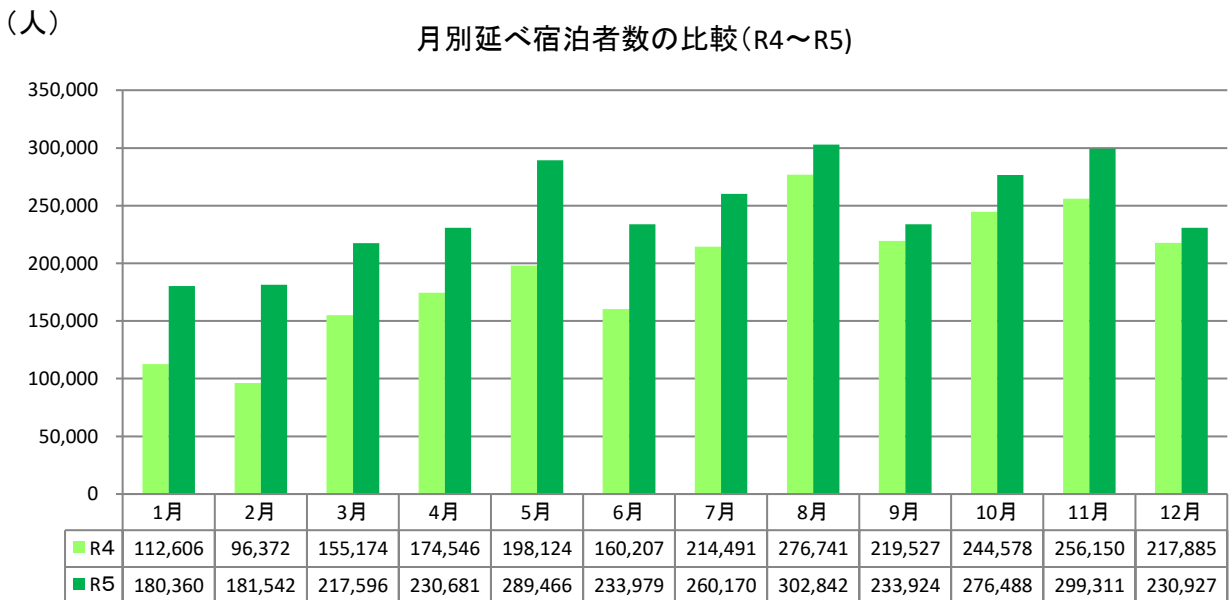
※対象宿泊施設無し：葛城市、河合町、川西町、三宅町、高取町

延べ宿泊者数の推移(H30～R5年)



- ・令和4年と比べ、610,885人（26.3%）増加した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べても、113,952人（4.0%）増加した。

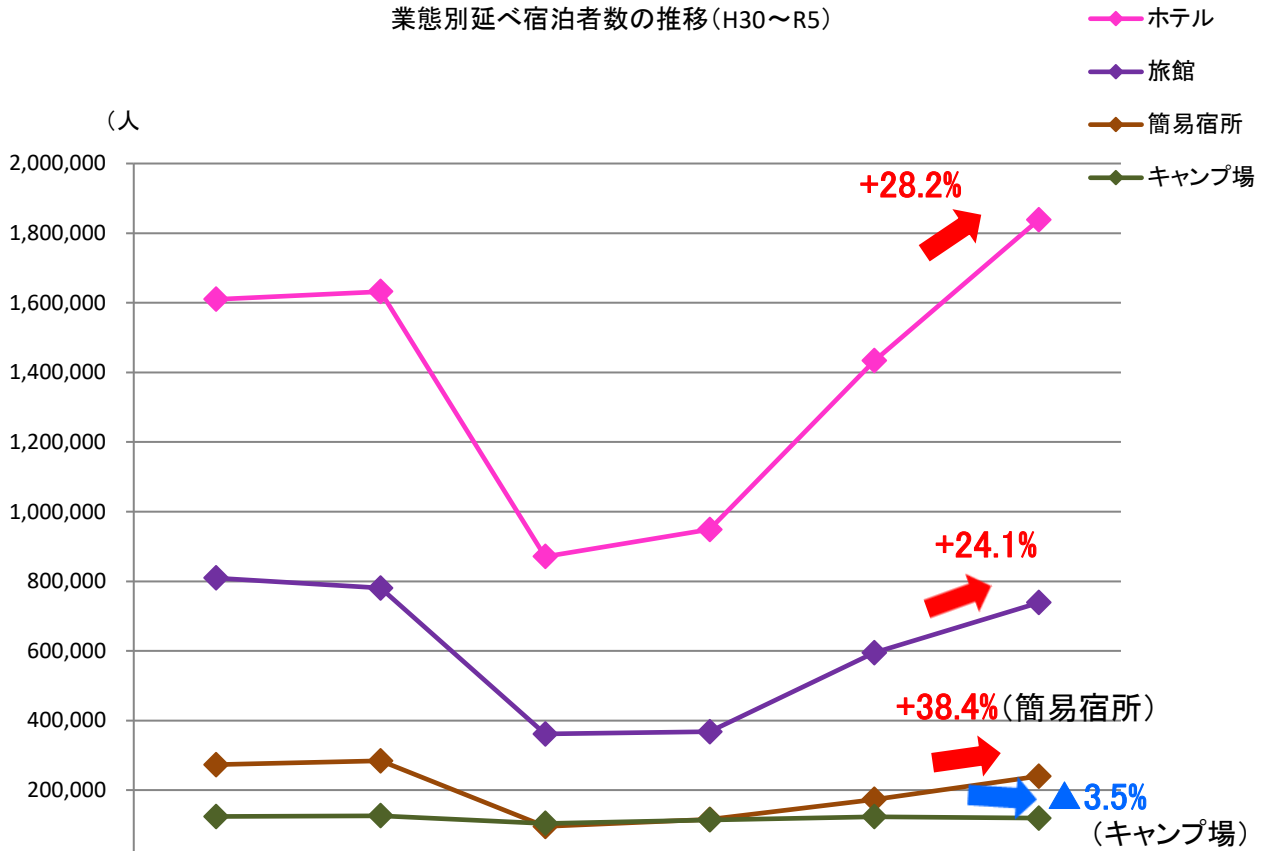
延べ宿泊者数の月別推移



- ・令和5年は、「いまなら。キャンペーン2022プラス」（令和4年7月1日～令和5年3月30日）や、「いまなら。キャンペーン2023」（令和5年4月12日～11月30日）に加え、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったため、宿泊客数が令和4年と比べて増加した。
- ・令和4年10月に水際対策に係る措置が大幅に緩和されたことにより、外国人宿泊客数も令和4年と比べ、増加した。

業態別延べ宿泊者数の推移(H30～R5年)

業態別延べ宿泊者数の推移(H30～R5)



	H30	R元	R 2	R 3	R4	R5
ホテル	1,610,190	1,632,253	871,180	948,674	1,433,713	1,838,522
旅館	809,322	780,612	361,262	367,998	595,085	738,789
簡易宿所	273,274	284,029	95,999	116,176	173,623	240,274
キャンプ場	124,337	126,440	104,539	114,507	123,980	119,701

令和4年比較

ホテル	令和4年比	404,809人増加 (+28.2%)
旅館	令和4年比	143,704人増加 (+24.1%)
簡易宿所	令和4年比	66,651人増加 (+38.4%)
キャンプ場	令和4年比	4,279人減少 (▲3.5%)

令和元年※比較

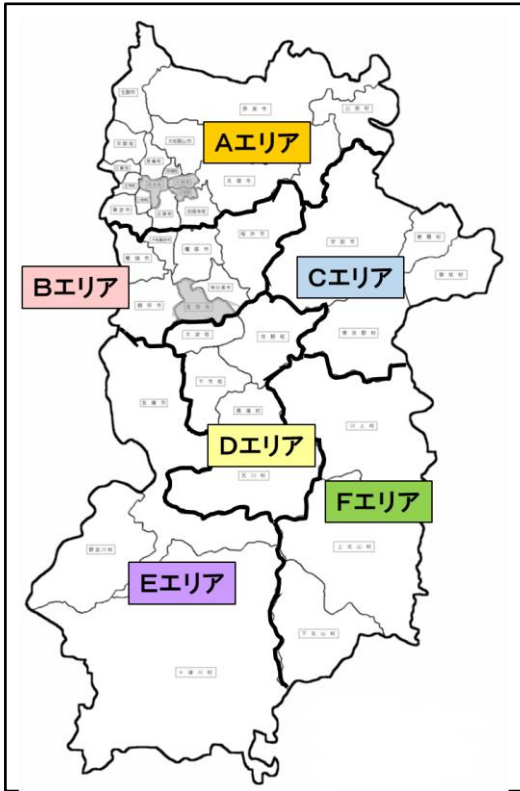
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大前

ホテル	令和元年比	206,269人増加 (+12.6%)
旅館	令和元年比	41,823人減少 (▲5.4%)
簡易宿所	令和元年比	43,755人減少 (▲15.4%)
キャンプ場	令和元年比	6,739人減少 (▲5.3%)

- ・令和5年は、「いまなら。キャンペーン2022プラス」「いまなら。キャンペーン2023」により観光需要が喚起され、令和4年と比べてキャンプ場以外の業態で宿泊者数が増加した。
- ・旅館、ホテルでは2割以上、簡易宿所では3割以上と大きく増加している。
- ・キャンプ場は、令和4年と比べて3.5%の減少となった。

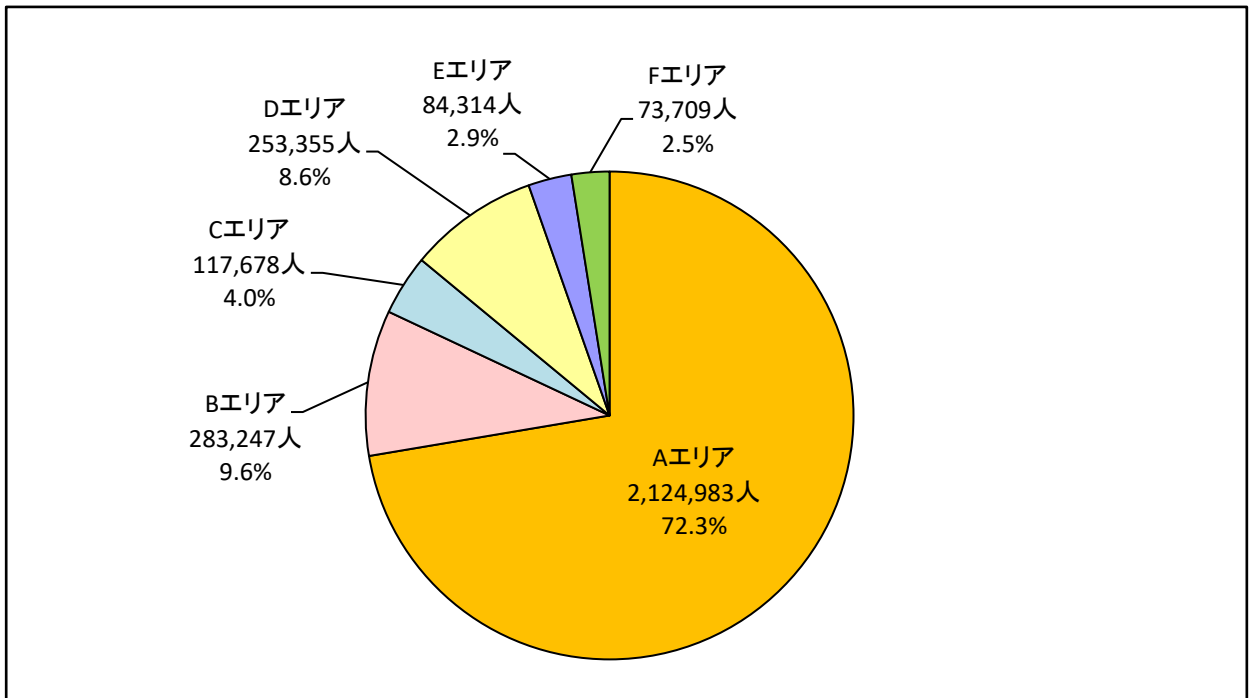
エリア別延べ宿泊者数の割合

各エリアの市町村一覧



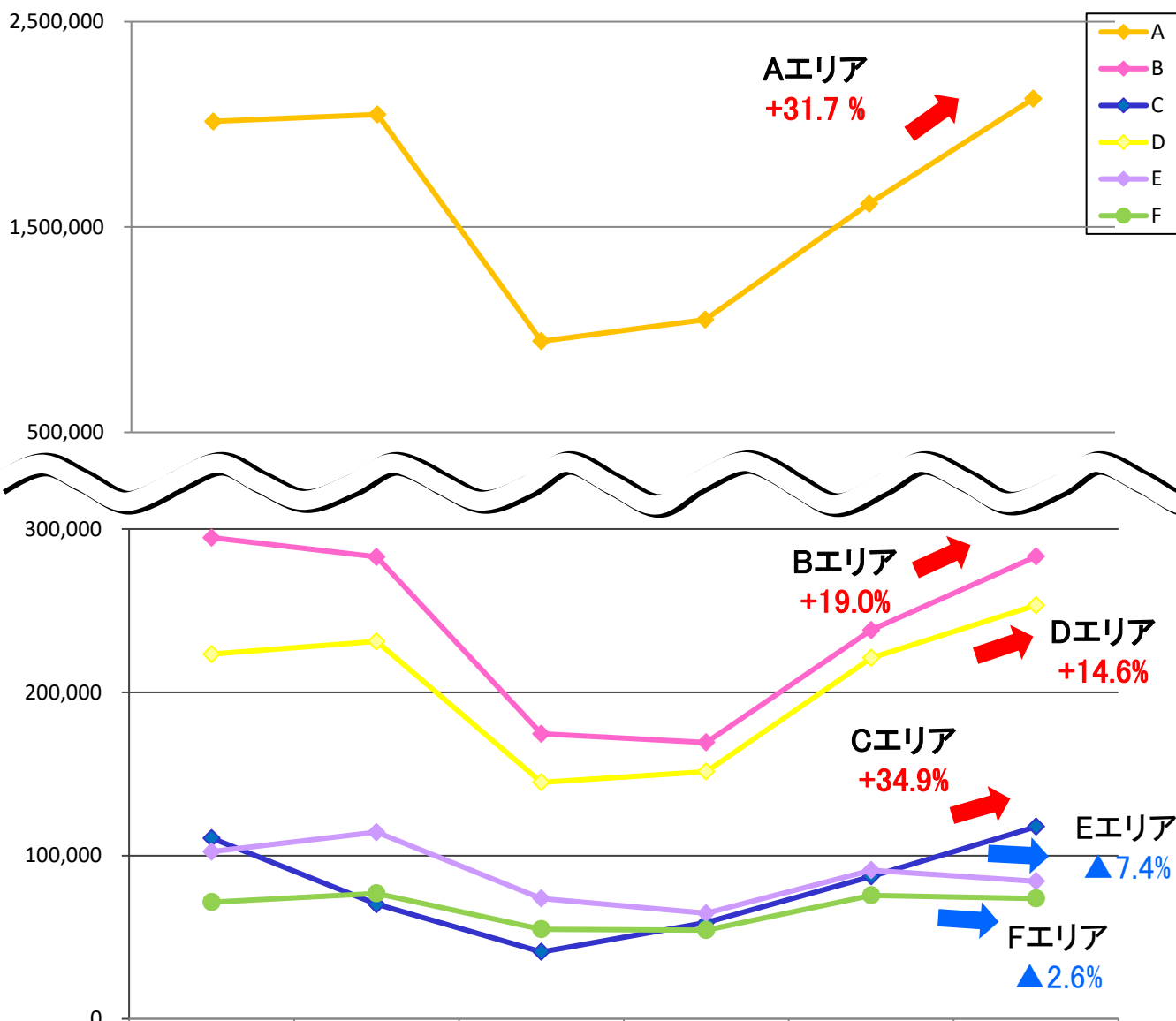
A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町、安堵町、上牧町、広陵町、田原本町、山添村
B	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、明日香村
C	宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

※対象宿泊施設無し：葛城市、河合町、川西町、三宅町、高取町



エリア別延べ宿泊者数の推移(H30~R5年)

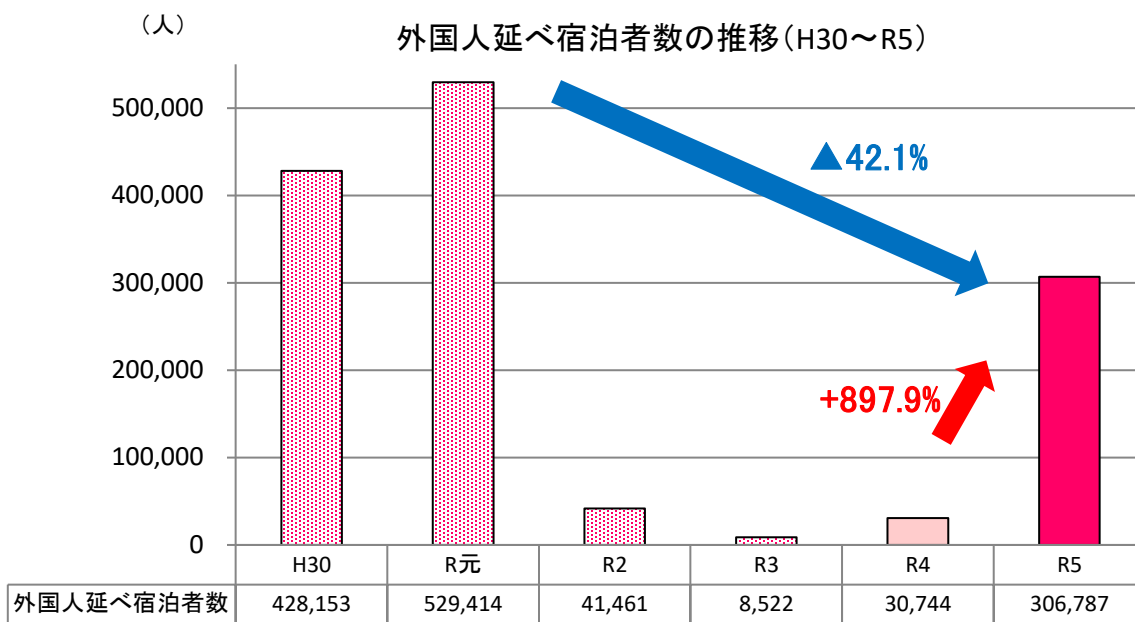
(人)



	H30	R元	R2	R3	R4	R5
A	2,014,369	2,047,844	943,839	1,048,597	1,613,333	2,124,983
B	294,741	282,942	174,603	169,348	238,115	283,247
C	110,726	70,146	41,030	58,905	87,207	117,678
D	223,409	231,209	144,935	151,493	221,040	253,355
E	102,404	114,320	73,732	64,659	91,054	84,314
F	71,474	76,873	54,841	54,353	75,652	73,709

- ・令和4年と比べて、Aエリア、Bエリア、Cエリア、Dエリアの宿泊者数が増加している。特に、Aエリアは31.7%増、Cエリアは34.9%増と増加率が顕著である。
- ・令和4年と比べて、EエリアとFエリアの宿泊者数は微減している。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べて、Cエリアの宿泊者数は大幅に増加している。AエリアとBエリアとDエリアでは、令和元年と同水準以上まで回復している。

外国人延べ宿泊者数の推移

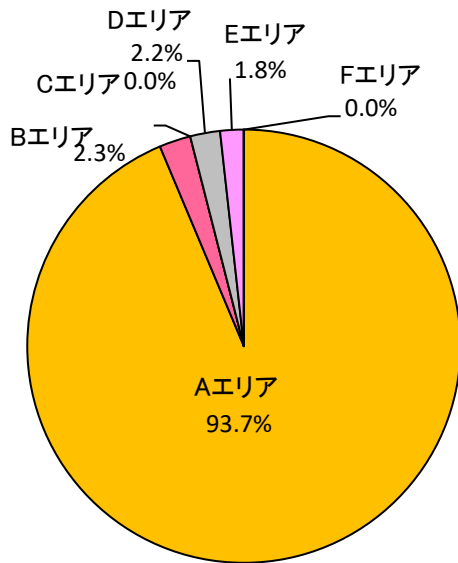


- ・外国人延べ宿泊者数 306,787人
- ・令和4年との比較 276,043人増加 (+897.9%)
- ・令和元年との比較 222,627人減少 (▲42.1%)

・令和4年10月に水際対策に係る措置が大幅に緩和されたことにより、令和4年と比べて、劇的に増加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比較すると、42.1%の減少となった。

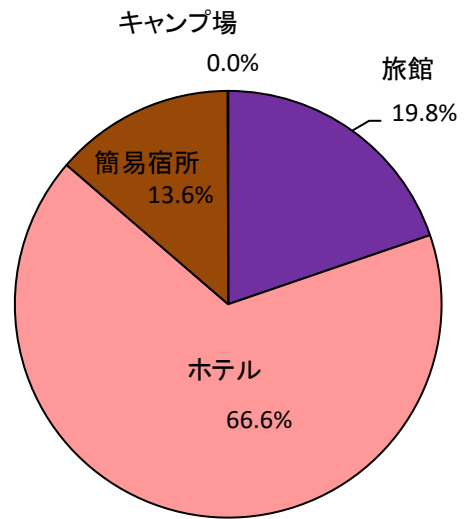
外国人延べ宿泊者数の割合

R5年 エリア別外国人延べ宿泊者数



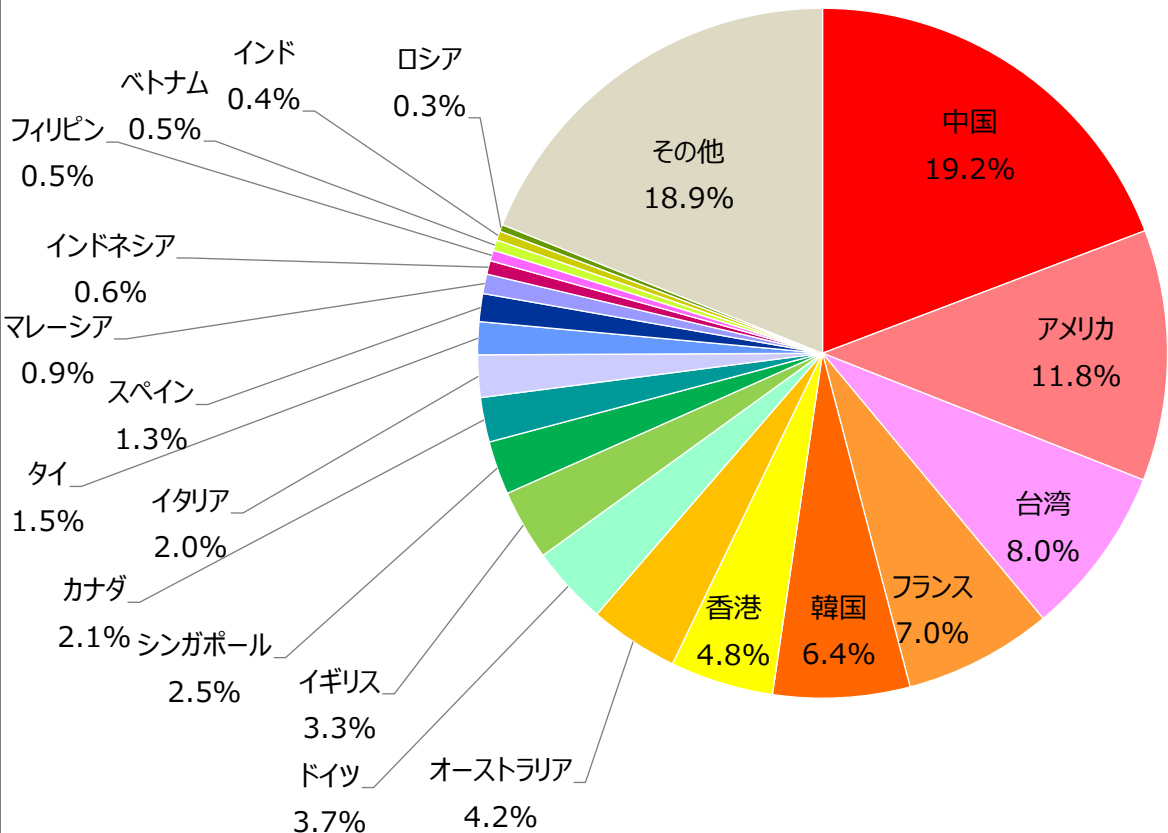
・令和4年同様、約9割がAエリアに集中。
 ※Aエリアの外国人延べ宿泊者数は令和4年と比べ、917.8%増加した。

R5年 業態別外国人延べ宿泊者数



・業態別ではホテルに約7割が集中。
 ※ホテルの外国人延べ宿泊者数は令和4年と比べ、979.2%増加した。

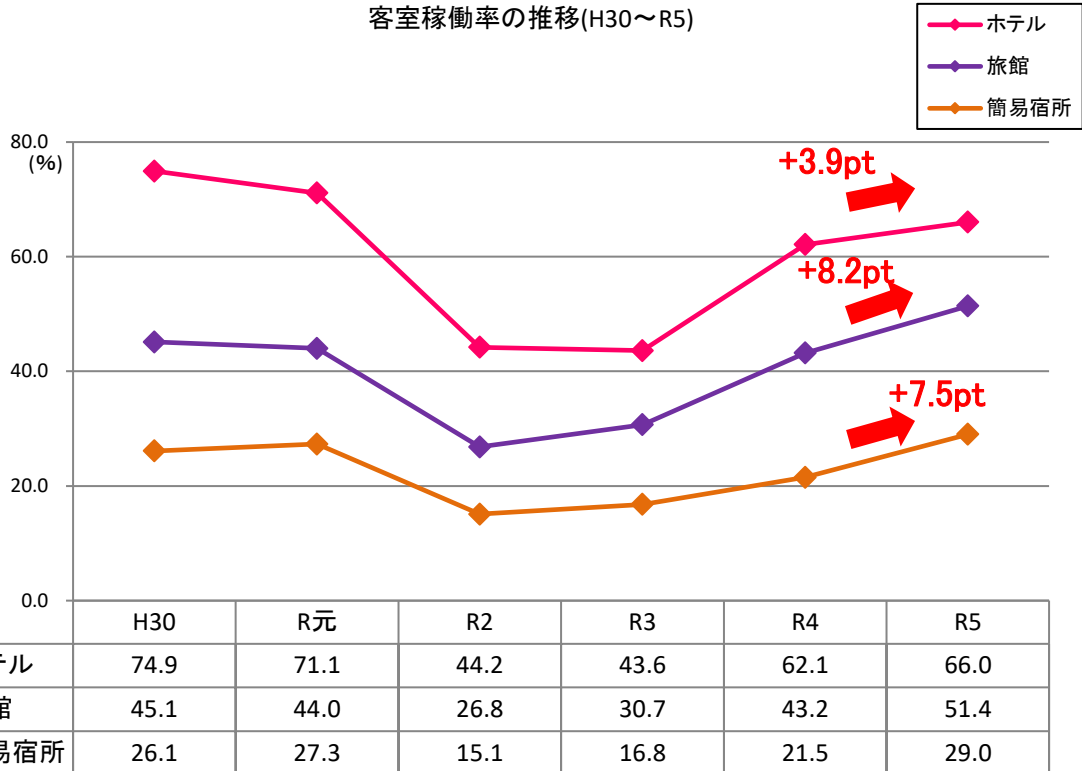
外国人延べ宿泊者の国籍割合



※国別割合は小数点以下の端数処理の関係で、合計は100.0%にならない場合がある。

客室稼働率の推移(H30～R5年)

客室稼働率の推移(H30～R5)



令和4年比較

ホテル	令和4年比	3.9ポイント増加
旅館	令和4年比	8.2ポイント増加
簡易宿所	令和4年比	7.5ポイント増加

令和元年※比較

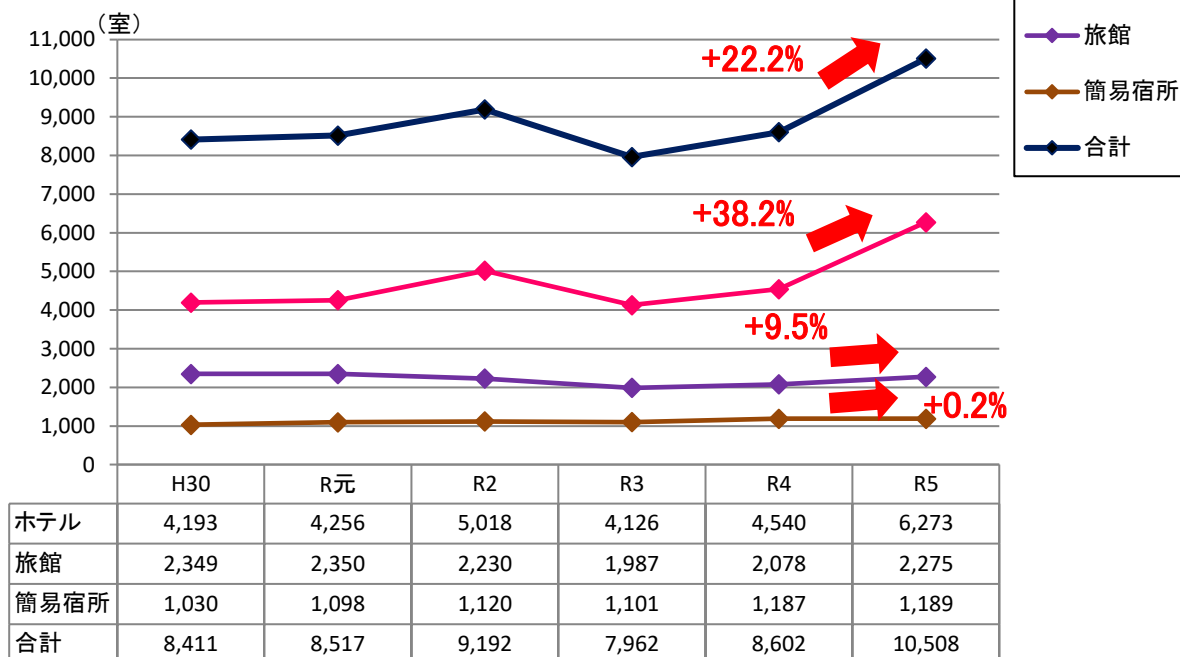
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大前

ホテル	令和元年比	5.1ポイント減少
旅館	令和元年比	7.4ポイント増加
簡易宿所	令和元年比	1.7ポイント増加

- ・各業態とも令和4年と比べ、稼働率が増加している。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べて、旅館は7.4ポイント増と大きく回復したものの、ホテルは5.1ポイント減少した。

業態別客室数の推移(H30～R5年)

業態別客室数の推移(H30～R5年)



※合計にはキャンプ場も含む

令和4年比較

ホテル	令和4年比	1,733室増加 (+38.2%)
旅館	令和4年比	197室増加 (+9.5%)
簡易宿所	令和4年比	2室増加 (+0.2%)

令和元年*比較

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大前

ホテル	令和元年比	2,017室増加 (+47.4%)
旅館	令和元年比	75室減少 (▲3.2%)
簡易宿所	令和元年比	91室増加 (+8.3%)

- ・ホテルは、新型コロナウイルス感染症療養施設だったホテルが営業を再開したため、令和4年と比べ、客室数が増加した。
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べて、ホテルは47.4%、簡易宿所は8.3%増加したが、旅館は3.2%減少した。
- ※令和2年～令和4年について、新型コロナウイルス感染症のために療養施設となった一部のホテルについては、客室数に含めていない。
これらのホテルは、令和5年以降、営業を再開している。